

生産技術科

Department of
Production Technology

定員 15名

こんなプロになれる!

機械加工のスペシャリスト

機械エンジニア

メンテナンスプロ

など



機械設計から
加工、測定、制御に関する
実践的な知識と技術を習得



金属やプラスチックなどの製品をつくるための機械の設計や加工、また、機械の保全(メンテナンス)に必要な知識と技能を学びます。CADやCAMを用いて設計し、それらをもとに部品を機械で加工して、製品や装置を組み立てるといったプロセスから多くのことを学びます。設計・加工・組立・検査のそれぞれの分野でものづくりに励むエンジニア育成を目指しています。



こんな資格の取得を目指せます!

■技能検定 2級・3級

- 普通旋盤作業
- フライス盤作業
- 機械検査作業
- 機械系保全作業
- 機械製図CAD作業

■特別教育

機械研削・自由研削といし特別教育
アーク溶接特別教育
動力プレス特別教育
低圧電気取扱業務特別教育

■ガス溶接技能講習

鳥根労働局長 登録教習機関第23号
登録有効期間満了日 2024年3月25日



生産技術科とは
どのような専攻科ですか

ものづくりの技術習得のみならず
多角的に考え、問題解決能力を
持った人材を育成します。

生産技術科では基礎を重視し、実験・実習中心のカリキュラムを通じ科学及び技術的な知識を身につけることを目標としています。最新のNC工作機械、CAD/CAMシステム、CNC3次元測定機などの使い方を理解した後は、課題を設定し取り組んでいく総合制作実習(卒業研究)により実践力・応用力を養います。

工科大との
違いは何ですか

人から課題を与えられるか
自分で課題を見つけるか。

工科大との大きな違いは、工学的理論を学ぶだけでなく実際の加工技術も併せて機械の設計や保全の知識を身につける点にあります。企業では手加工ではなく機械加工(特殊なプログラム言語により機械に指示し、機械が加工を行うもの)が主流となっており、自ら考え、改善する力が必要とされています。当校では、実際の企業で使われている機器で実習を行うので、様々な課題に対応できる即戦力として活躍ができます。



総合制作実習課題・作品/各種競技大会等

様々な事に積極的に挑戦しています!

【総合制作実習テーマ一覧】
(令和2年度)

- 自動化クレーンの製作
- 射出成形金型の設計・製作
- 海洋ロボットの製作
- クローラ型ロボットの製作

これまで習得した技能・技術を総合的に発揮して新規性のある課題に取り組む科目として総合制作実習があります。その中では海洋ロボットコンペティション、機械加工やCAD製図などの競技会に参加することの一つのテーマにすることもあります。工夫しながら作ることの楽しさにも増して、目標を定めその達成を目指す中で得られる経験は将来の糧になります。



技能検定へ挑戦!!

会社で有利になる、機械保全2・3級などの各種技能検定に挑戦しています。検定の取得に向けて、勉強会や設備の使用も自由なので、本人のやる気だけの準備でOK。高得点で合格して特別表彰にチャレンジ!



ガス溶接技能講習及び
特別教育修了

会社で必要となる技能講習や特別教育のカリキュラムが授業に含まれているので、資格を持った状態で就職活動に臨めます!